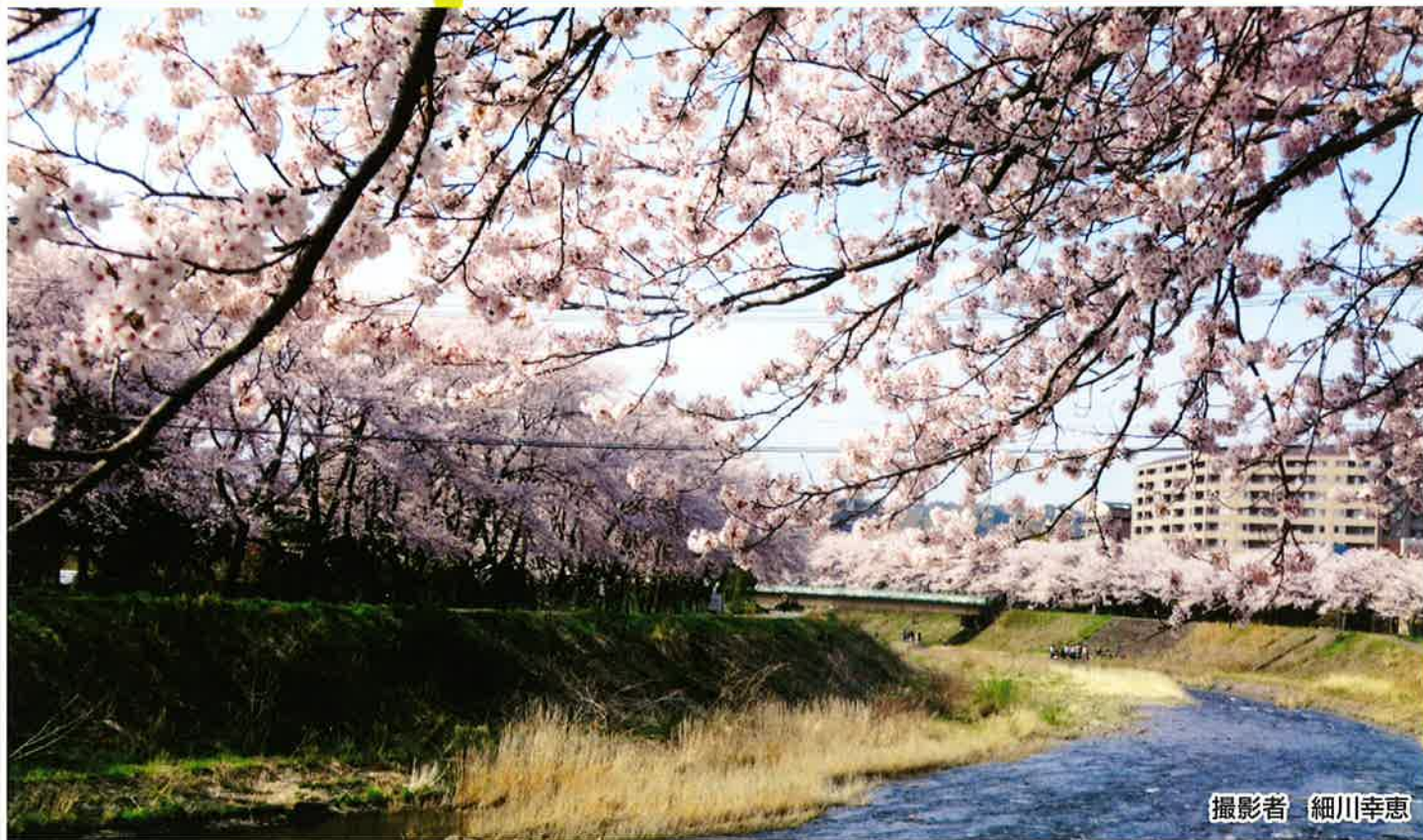




NPO 金沢杜の里 NEWS

2019.4 No.31



撮影者 細川幸恵



杜の里りんびっく

杜の里子ども会連合会

育成委員長 松尾 曆 哉

杜の里りんびっくが平成22年から始まって早9回の実施となりました。これもNPO金沢杜の里様からのご厚意の積み重ねが有って継続できてきたことと感謝しております。杜の里りんびっくは、杜の里子ども会連合会、杜の里小学校教育友会、NPO法人クラブぽつと（当時は杜の里スポーツクラブ）が主催となり、杜の里小学校区を一つのまとまりとした地域の親睦を図ることを目的として始まりました。この地区には学生や外国人の方が多く住んでいるので、地元の方だけでなく全ての住人が参加できる活動を目指しています。

そして他の社会体育大会とは一線を画し、毎年新しい競技を取り入れることで、やって楽しい見て楽しいことを第一に考えています。特に鈴見・若松・旭町の3地区の対抗競技はどれも見ものであり、これまで毎回、星を分けてきているので目を離せません。

杜の里りんびっくの競技は毎年クラブぽつとの皆さんが考えています。個人競技も地区対抗競技にもいろいろなアイデアが盛り込まれています。なかでも地区対抗競技では、多くの方に参加いただけるだけでなく、多世代が交流できるような工夫がされています。小学生、大学生、成人、高齢者が1本の棒を足で挟み4人組で歩いてリレーをする「よちよちレース」は多世代の協力が勝負の鍵ですし、全員参加型の「がんこな大声コンテスト」は、参加人数が多い地区が有利ですので、各地区参加の呼びかけが重要となってきます。また、お母さんが本気を出して必死に頑張っている「バーゲンセール」は、見ているだけでも楽しく、子どもたちからの「やりたい！」という声を取り入れて、子どもたちも参加する競技に変更されています。

今年10回目を迎えます。いつもよりちょっとだけ盛り上げて、15回20回と続けていきたいです。

毎年10月第二日曜日は杜の里りんびっくに来て下さい。

平成30年度NPO金沢杜の里まちづくり活動状況

定款の事業名	事業名	事業内容	時期等	
特定非営利活動に係る事業	調査・研究事業	①調査・研究会	●事業の調査・研究 ●地区計画申請の緑化事前審査 ●講演会の開催	随時 通年 6月
		②会員の拡大	●会員の勧誘 ●祭りギフト券の発行 ●その他PR施策	通年 4、9、10月 随時
	啓発と普及を図る事業	③ニュース(会報)の発行	●ニュースの編集・発行	4、7、11月
		④ホームページ開設による情報公開活動	●サーバ管理	随時
	地域間交流など交流連携推進事業	⑤「まちおこしイベント」等の開催及び支援事業	●まちおこしイベントの支援 ●杜の里小学校、杜の里児童館のイベント支援 ●地域防災組織の支援 ●金沢マラソンの支援	4、9、10月 8、12月 10月 10月
		⑥大学等及び国際交流センターとの交流事業	●大学協議会等との交流 ●ミュージアムロードの支援 ●国際交流団体との交流	随時 1月 1月
	環境保全・花いっぱい運動事業	⑦花・緑化推進事業	●花いっぱい運動の推進 ●セットバック整備の推進	7回 通年
		⑧自然環境整備保全事業	●ホテルの育成活動の支援	9月下旬~11月
		⑨地域美化運動推進事業	●公共設備等の点検整備 ●幹線道路清掃活動の推進	随時 11月
その他の事業	①まちづくり環境整備受託事業	●私有地の除草	7月	
	②公共施設管理受託事業	●緑地小公園の管理	毎月	

街の声

「NEWS No.30号(30.11.1)等のご意見感想から」

☆いつも活発な活動に敬意を表します。そしていつも参加していて気づかなかったですが、金沢国際交流会館文化祭のお手伝いもしているんですね。

☆先日、杜の里小学校の通学路を歩いてみました。車通りと違って一つの住宅地の道は歩きやすかつたし、緑がきれいでした。

☆道路沿いに配置されている四季折々の花に心が癒されています。今は、ベコニヤが見事です。お世話ありがとうございます。

☆わが町、探訪シリーズ大変勉強になります。若松に住んで43年になります。春・秋の祭りが楽しみです。子ども達で賑わっているのがいいですね。

☆毎年、春・秋の祭りが楽しみです。子ども達で賑わっているのがいいですね。

☆No.30、表紙の杜の里小学校山田菊代校長の言葉に共感しました。奉仕と愛の精神は人にとって大事な事だと改めて思いました。

☆小学校、児童館等いろいろの事業に支援していらっしゃるのですね。杜の里校区は、外国からの留学生が多く住んでいます。国際交流会館文化祭にも協力しているのですね。多岐にわたりにしてはいるのを知りました。おつかれさまです。

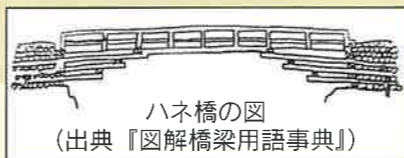
☆杜の里ニュースが届きました。内容もさることながら、私の楽しみのひとつがクロスワードパズルです。いつも応募している人ならよくわかると思いますが、これが難問なのです。地元ゆかりのある答えですが、タテヨコ考える面白さあり苦しみもある。自分の知識の無さを棚に上げて必死で埋めていく。解く側が苦労しているから、作る側も四苦八苦しているに違いなしと勝手に想像しています。これは認知症予防にもついでです。次回も心待ちにしております。

☆いつも街づくり活動お疲れです。今回は、楽しいさつま芋掘りをしていてお子さん達の写真に癒されました。自分で植えて、自分で収穫できて、最高ですね。

☆山田校長先生のお書きになったこと、全て同感です。いつも利用する山側環状線から入った歩道の手入れや季節の花々に信号で止まっていますが、心がやすまります。同僚とも、この街は「ようやつていくな」と感じています。

☆娘が4月から杜の里小学校1年生として通います。山田校長先生のお言葉とても貴重だと思ひ、大切に保管してあります。娘には通学路や学校について沢山学んでほしいです。

わが町・探訪シリーズ12 ハネ橋だった下田上橋



ハネ橋の図
(出典『図解橋梁用語事典』)

「下田上橋」が初めて記録されたのは、元文2年(1737)の河北郡絵図で、明和年(1764~72)の戸室石引道図には「田上橋」とあり、文政3年(1820)の測量図には「下田上大橋・下田上村御郡橋」と記されています。下田上橋は、河北郡の郡奉行が管理する重要な橋であったことは確かなようです。明和年の絵図は、戸室石引道の「浅野川越え」を記録するための絵図で、「田上橋」も色付けで描かれています。

土地区画整理前の道筋は、板を上がれば左が橋で、直進すれば急な下り坂で、そこに堤防がありましたが、絵図は「川原」と書かれ、左の川の中に蛇籠が描かれています。旭町側の橋台は自然段丘を利用し、田上側は「川原」に石を積み、戸室石引道(幅9m)を兼ねた橋台が築かれていました。戸室石引き道に「此朱石引道」と書かれており、明和年は「地車」(木製台車)で石を引き、石を引いて田上橋は渡らなかったことがわかります。

「金沢市戸室石引き道調査研究所」は「田上の橋」について、『藩政時代、田上の橋は、ハネ橋でありました。ハネ橋とは兩岸より支え脚を斜めにだした川の中に橋脚のない構造の橋です。橋の長さは18間(33m)、橋の位置は変わっていないようです。しかし、地車で引いた重量物の石は耐えられないのでありましょう。そこで下流に特製の通路を造りました。その構造は、橋の下流に、竹籠の中に栗石を詰めた川籠をならべ、その隙間を土で埋めて道路を作りました。』とあります。

下田上村の「ハネ橋」は、人工的に築かれた橋台に、長さの違う橋脚にあたる柱を斜めに埋め込むもので、短い柱が1番目で、2番目の長さの柱を支え、2本目は1番長い3本目の柱を支え、その3本目の柱の先端は、水平(実際は湾曲)の橋桁を支える構造でした。これら3本の柱は、先端だけ接触(かまし木)させ、お互いの面は密着させない構造であることから、1本1本の柱がバネの役目をして、重い重量でも耐えられる構造だったことがわかります。「ハネ橋」は片側に3本×2(左右)で6本、合計12本の柱で支えますが、それぞれの柱の埋め込みの傾斜角度は高度な測量術が必要で、難しい普請だったのではないのでしょうか。

ある歴史学者は、『田上橋は、昔はハネ橋として著名(名高い)であった』と述べています。元来「ハネ橋」は溪谷に造られますが、太鼓橋のような曲線橋が田上に現れたのであれば、ハネ橋を一目見ようと、旅人だけでなく、城下からも多くの見物者で賑わったのではないだろうか。平成19年10月に下田上橋は竣工しましたが、着工前、戦地から帰還した方から、『浅川村から出征した人たちは、下田上の浅川村役場で出征式が行われ、戦地に向かったが、戦争が激しくなると、下田上の榊原神社(合祀大將軍は軍神とされていた)で祈願し、下田上橋(旭町地内)で多くの人達に見送られて戦地に向かった。戦地で見送られた日の事を忘れた日はなかった。戦死した人たちのことを考えて、『下田上橋』は残してほしい。』と懇願されたことがあります。これは、「下は縁起が悪い」という人がおり、心配してのことでした。

大正3年生れの方から「私が33歳の厄年のとき(姑さんに付き添われ)塩と一つまみの洗米と、黒豆33粒を半紙に包み、下田上橋の中程から、流れの速い所に落とし、手を合わせて橋を渡りきった。』と聞きました。このような風習は各地でも行われていましたが、金沢市編入の頃には行われなくなったと聞いています。

郷土歴史研究家 亀田輝之



ふるさと探訪

大学門前町ホテルの会にご理解とご協力を

大学門前町ホテルの会 事務局長 関戸 正彦

「第28回全国みどりの愛護石川の集い」で、NPO金沢杜の里は、花いっぱい運動と子ども達とのホテルの取り組みが評価され、平成29年6月10日「功労者国土交通大臣表彰」を受賞しました。私が若松に住を構えた昭和48年、周りはほとんどが田んぼで7月に入りますとホテルが飛び交い、子ども達とホテル狩を楽しみました。しかし、町が近代化され整備されるとあっという間にホテルは消えてしまいました。それから30年余がたった頃、角間川にホテルが自然発生したとの報道があり、地域の皆さんとホテルの飛び交う町づくりに取り組み、平成20年12月「大学門前町会」を結成しました。



なにしろ初めての取り組みで、ホテルを知ることからはじめましたが、知るだけではホテルは増えず、ホテルが飛び交う町にしておくためには、幼虫の放流が大切であると考え、ホテルの幼虫を手にするにしましたが、ホテルの幼虫は、ほかの水系からの幼虫を借りたり、買って放流しては生態系に悪い関係を及ぼすと指摘され、ホテルの里親制度に組み込み、亀田さんにホテルの里親をお願いして、昨年も杜の里小学校3年生の総合学習でホテルの学習と学習成果を活かすためのホテルの幼虫飼育と観察を続け、11月、鈴見せせらぎ水路への放流は10回を数えるまでになりました。毎年、ホテルのシーズンになりますと公民館のホテルニュースで毎日、ホテルの出現と場所の報告をし、角間川や北谷、姫谷等は、市内有数のホテルの名所として知られるようになりました。今年も自然豊かなホテルの名所に乱舞する光の姿を楽しみに、元気な間は続けていきたいと思っています。

まちづくり活動

平成30年11月~平成31年3月



緑地小公園除草(毎月)



第6回花苗(パンジー)植付(11/10)



ホテル育成・観察(9/24~11/24)



杜の里児童館餅つき大会(11/17)



ホテル放流(11/25)



落葉清掃(11/24)



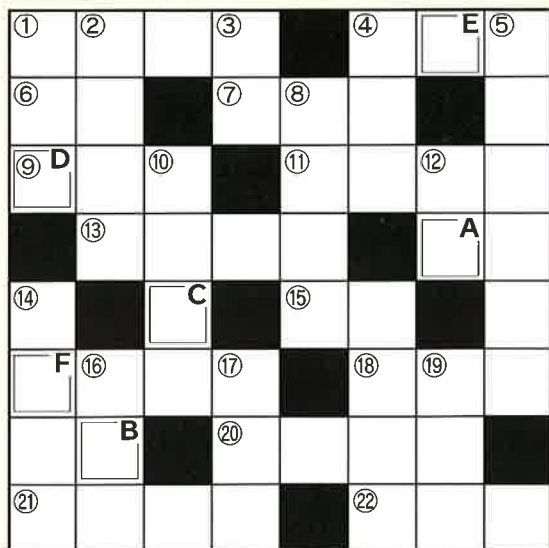
第7回プランター撤去(12/2)



国際交流会館文化祭餅つき(1/19)

支援事業

クロスワードパズル



答 A B C D E F

〈ヒント〉もりの里1丁目南交差点から上若松町会館の道路名

応募方法

◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、4月30日までに、次の所へお送りください。

〒920-1165 金沢市若松町3-281
NPO金沢杜の里情報公開委員会係

→ ヨコのカギ

- ① 新聞等決まった以外に発行
- ④ 物事が決められた道理になっているか調べること
- ⑥ 紙等たるんだり縮んだりする様子
- ⑦ 心配なこと
- ⑨ 人と人との繋がり
- ⑪ ご飯等すくう道具
- ⑬ 耳の下の柔らかいところ
- ⑮ 左の反対
- ⑮ 実際にこなう技術や演技
- ⑲ 身体のかたち
- ⑲ 望みが満たされること
- ⑲ 家や土地の周りの囲い

↓ タテのカギ

- ① いろいろな色
- ② 液体の上側のすんだ部分
- ③ 恐れ怖がること
- ④ 山と野原
- ⑤ 将棋のルールに基づいた一種のパズル
- ⑧ 同じ状態がつづいて進歩がないこと
- ⑩ ウォータースポーツの一つ
- ⑫ 生まれたところ
- ⑭ ちょっとの間
- ⑯ 屋号など染められた布で店頭にかけるもの
- ⑰ 家やしき
- ⑰ 後から書き加えること

お知らせコーナー

2019年4月～6月行事予定

- ◎環境保全・花いっぱい運動事業
 - ・花苗の植付、配置
- ◎通常総会の開催
 - ・6月2日(日)
 - ・通常総会后、講演会開催
- ◎街づくりイベント等の支援事業
 - ・杜の里桜祭り(4月6日)支援
- ◎お願い
 - ・自然環境と景観保全に、地権者の敷地内セットバックの剪定をお願いします。

会員募集

NPO金沢杜の里は、どなたでも加入できます。
あなた方のご加入をお待ちしております。

連絡先

特定非営利活動法人 NPO金沢杜の里
金沢市若松町3丁目281番地
電話/222-7730 FAX/262-0026

新年度に入り、当法人の各事業がスタートしました。今年も、もりの里等の街路にチューリップ、ペコニヤの花苗を並べて、緑豊かな街づくりに努めます。

みなさまの暖かいご意見、感想等が緑豊かな街づくりの励みになります。お便りをお待ちしております。

会員一同、地域の皆さまに喜んでいただける事業を目指し、一生懸命努めて参ります。(編集後記)

緑豊かな未来

